

■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立緑の休暇村センター 相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯 相模原市立津久井合唱館
指定管理者名	一般社団法人 青根振興協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立緑の休暇村センター条例、相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯条例、相模原市立津久井合唱館条例
施設の設置目的	青根地域の豊かな自然環境の中で、市民の健全な休養と研修の場を提供し、もって市民福祉の向上と地域社会の発展に寄与する。(緑の休暇村センター条例第2条) 温泉資源の活用による市民の福祉の向上及び健康の増進を図り、市民のふれあいと交流を促進し、もって地域の活性化に寄与するため。(青根緑の休暇村いやしの湯条例第2条) 市民が行う合唱、楽器演奏等の音楽活動及び交流活動の場を提供することにより、合唱の里づくりの推進及び音楽文化の振興並びに市民の相互交流の促進の寄与するため。(相模原市立津久井合唱館条例第2条)
施設概要	【緑の休暇村センター】 所在地:緑区青根807番地2 開館日:昭和55年6月8日 管理面積:12,434.00㎡ 延床面積:762.35㎡ 構想:鉄骨造地上2階、木造 主な施設:宿泊室6室、コテージ3棟、テニスコート2面、食堂 【青根緑の休暇村いやしの湯】 所在地:緑区青根844 開館日:平成17年5月11日 管理面積:4,187.33㎡ 延床面積:999.87㎡ 構想:鉄骨造一部木造平屋建 主な施設:温泉施設、貸切休憩室 【津久井合唱館】 所在地:緑区青根851番地 開館日:平成6年7月1日 敷地面積:454.96㎡ 延床面積:105.24㎡ 構造:鉄骨造1階
施設所管課	緑区役所区政策課、緑区役所津久井まちづくりセンター

2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【休暇村センター】 利用者数合計(人)	3,974	1,432	1,405		
【休暇村センター】 利用料金合計(円)	8,578,410	4,633,602	3,944,520		
【いやしの湯】 利用者数合計(人)	82,679	51,133	60,782		
【いやしの湯】 利用料金合計(円)	53,670,220	34,453,910	65,882,338		
【合唱館】 利用者数合計(人)	790	55	194		
【合唱館】 利用料金合計(円)	115,500	21,000	64,050		

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	D	D	D				

指標 1	緑の休暇村センター
指標名 (単位)	施設利用者数の増加(対象施設:客室、コテージ、食堂、テニスコート)
指標式と指標の説明	施設の年間利用件数/12ヶ月 単位:人 目標数値は平成28年度と平成29年度の2年間の利用件数(1か月当たり)の平均値5%増とする。

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	368	368	368		
実績値 (人)	331	119	117		
達成度 (%)	89.9%	32.3%	31.8%	#DIV/0!	#DIV/0!

指標 2	青根緑の休暇村いやしの湯
指標名 (単位)	施設利用者数の増加(対象施設:入浴施設)
指標式と指標の説明	施設の年間利用件数/12ヶ月 単位:人 目標数値は平成28年度と平成29年度の2年間の利用件数(1か月当たり)の平均値5%増とする。

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	8,800	8,800	8,800		
実績値 (人)	6,890	4,261	5,065		
達成度 (%)	78.3%	48.4%	57.6%	#DIV/0!	#DIV/0!

指標 3	津久井合唱館
指標名 (単位)	施設の年間利用件数 単位:件(コマ)
指標式と指標の説明	午前、午後、夜間の区分を1コマ=1件とする。 目標は平成28年度と平成29年度の利用コマ数(1ヶ月当り)の平均値の5%増とする。

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	200	200	200		
実績値 (人)	110	20	65		
達成度 (%)	55.0%	10.0%	32.5%	#DIV/0!	#DIV/0!

4 事業の実施状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 18
	S	S	A				

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
北丹沢12時間山岳耐久レース	施設周辺をスタート・ゴールとする約44キロを走るトレイルレースに協賛した。	大会関係者や参加選手に駐車場・入浴・食事等の提供と入賞者にトロフィーを送りPRを行った。 参加者約1,600人。 (R2及びR3は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止)
道志川合唱祭及び前夜祭	道志川合唱祭及び前夜祭(芸能発表、和太鼓演奏、打ち上げ花火)の事業に協力、協賛した。	パンフレットの配布などPRに努めた。 参加者は前夜祭約500人、合唱祭約1,000人。 (R2及びR3は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止)
いやしの湯送迎バス運行事業	温泉施設において、青根地域住民の健康増進と交流を図るとともに利用者の少ないこの時期に毎月2回送迎バスを運行し、利用者の増加を図った。	地域内高齢者の健康増進と住民交流の場を提供するとともに、利用者の増加を図った。
ゆず湯	露天風呂でゆず湯を行った。	集客につなげることができた。 実施日は12月22日
新春甘酒サービス	新春の入館者に、ご利用を感謝し甘酒の提供をした。	集客につなげることができた。 実施期間は1月2日～3日

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	S	S				17

利用者満足度調査	3施設の平均値
調査手法	利用者満足度調査(アンケート用紙による満足度調査)
目標値の基準	「普通」以上の割合が8割以上 ※R1は「満足」と「やや満足」の合計が8割以上

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	80	80	80		
実績値 (%)	79	98	98		
達成度 (%)	98.8%	122.9%	122.9%	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者満足度調査	緑の休暇村センター
調査手法	利用者満足度調査(アンケート用紙による満足度調査)
目標値の基準	接客、食事など各項目の満足度の普通以上の割合が8割以上 ※R1は「満足」と「やや満足」の合計が8割以上

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	80	80	80		
実績値 (%)	62	97	100		
達成度 (%)	77.5%	121.3%	125.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者満足度調査	青根緑の休暇村いやしの湯
調査手法	利用者満足度調査(アンケート用紙による満足度調査)
目標値の基準	総合的な満足度の普通以上の合計が8割以上 ※R1は総合的な満足度の「満足」と「やや満足」の合計が8割以上

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	80	80	80		
実績値 (%)	83	98	95		
達成度 (%)	103.8%	122.5%	118.8%	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者満足度調査	津久井合唱館
調査手法	利用者満足度調査(アンケート用紙による満足度調査)
目標値の基準	施設管理状態、利用料金、接遇、総合的な満足度の「普通以上」の合計が8割以上 ※R1は施設管理状態、利用料金、接遇、総合的な満足度の「満足」と「やや満足」の合計が8割以上

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	80	80	80		
実績値 (%)	93	100	100		
達成度 (%)	116.3%	125.0%	125.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
意見箱の設置	意見箱を設置し、利用者のアンケート収集に努めた
積極的なアンケート回収	職員が利用者に積極的に声掛けを行い、アンケートの回収数向上に努めた

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
エアコンの効きが良くない	いやしの湯の全部のエアコンクリーニングと部品交換等を実施し改善した
洗い場シャワーがぬるい	シャワーの部品交換を行い、より細かい温度調整が可能となった
接客対応で注意が過剰である	コロナ感染症対策の中、誤解のない対応に努めるよう職員ミーティングを実施した
ワンコインで手軽に食べれるメニューがほしい	「おにぎり」「味噌汁」「小鉢(3点付き)」「デザート」セットでワンコイン(500円)が利用者からの意見を受けて始めたところ高齢者に人気メニューになった
マイクから音が出ない	津久井合唱館のマイク及びマイクコードのジャックを交換し改善した

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A				15

施設の収支概要

(円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	87,094,445	115,530,038	118,800,617		
指定管理料	706,675	716,852	714,149		
利用料金収入	62,364,130	38,140,710	50,842,738		
その他の収入	24,023,640	76,672,476	67,243,730		
支出 (b)	81,769,998	83,823,170	91,417,679		
人件費	25,599,929	22,162,317	25,251,690		
本社管理経費	48,645,182	39,513,424	44,468,406		
その他の支出	7,524,887	22,147,429	21,697,583		
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	5,324,447	31,706,868	27,382,938		
自主事業収入 (d)	37,102,435	21,498,307	18,880,770		
自主事業支出 (e)	40,661,671	31,839,815	31,296,682		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	-3,559,236	-10,341,508	-12,415,912		
全体収支 【(c)+(f)】	1,765,211	21,365,360	14,967,026		
備考	指定管理制度導入施設協力金 ①休暇村センター(R2:7,100千円、R3:3,600千円) ②いやしの湯(R2:48,000千円、R3:23,800千円) ③合唱館(R2:100千円、R3:250千円) コロナ対策事業補助金 ①休暇村センター(R2:218千円、R3:2,128千円) ②いやしの湯(R2:1,659千円、R3:702千円) ③合唱館(R2:22千円、R3:0千円)				

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	有	有	有		
主な加点内容	施設人員は100%（いやしの湯は93%）市内従業員であり、地元活用として評価できる。	施設人員は100%（いやしの湯は93%）市内従業員であり、地元活用として評価できる。	施設人員は100%（いやしの湯は93%）市内従業員であり、地元活用として評価できる。		

8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
(なし)		

9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
コロナウイルス感染症対策	飛沫防止対策として空気清浄機を設置	コロナウイルス感染症の予防に寄与した。
通路の整備	いやしの湯と緑の休暇村センターを結ぶ砂利道を舗装しました。	利用者には高齢者もいるため、雨の日や夜間通行において、より安全に通行することができるようになった。
台風被災者支援事業	台風19号被災者・災害ボランティアの無料入浴支援、災害派遣自衛隊への駐車場提供、自衛隊員の無料入浴	災害時での施設の有効活用が出来ました。今後の災害発生時の対応が確認できた。
キャッシュレス対応事業	キャッシュレス化が時代背景にあり、コロナ禍で特に需要が増加するので対応しました。PayPayのQRコード決済を緑の休暇村センター（宿泊・テニスコート利用）で実施しました。また、行政が主導する39キャンペーンやかながわ旅割にも参加しました。	特にコロナ禍に於いて、キャッシュレス利用が増加しました。キャッシュレスが可能になったことで、施設のレベル向上に繋がった。

10 指定管理者の自己評価

令和元年度は、台風災害による地域が幹線道路の通行止めと停電や断水等で困っている際に、市の公共施設として、いやしの湯を無料開放し、地域貢献を行った。令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止など経験をしたことのない中で感染症拡大に相模原市の支援を得て感染症対策事業（手洗い等の自動化、空気清浄機エアドック導入、パーティションの設置など）を実施し密接、密集等を避けるため入場者数をコントロールしながら運営しました。また、緑の休暇村センター、合唱館も密集、密接等を避けるため団体の利用に理解を得て対応しました。これらの結果、施設からコロナ感染者を出すことなく営業できました。令和4年度もコロナ感染症対策の中での営業となりましたが休業等をすることなく営業でき利用者も増えてきました。令和5年度は、コロナ感染症対策を行いながら利用者の安心、安全等に努め周囲のキャンプ場（いやしの湯と青根の全キャンプ場をスマホから検索できるマップ作成）とも連携し利用者の拡大に努めます。

11 所管課意見

令和元年度は台風被害による休館、令和2～3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休館や利用制限により利用者が減少し、厳しい状況が続いている。しかしながら、こういった状況下においても3施設全てで高い利用者満足度を維持できたことは評価できるものとする。

今後は、利用者の増加に向け利用促進を図るとともに、引き続き安全・安心に施設を利用していただけるよう管理運営に努めていただきたい。

12 選考委員会意見

・全般的には、台風災害や新型コロナウイルス感染症の影響のある中、運営した指定管理者の努力は評価できる。ただ成果指標について、3施設とも達成度が低いことは課題と感じるが、令和5年に入り新型コロナウイルス感染症は沈静化しているため、今後を期待したい。他の指標についてはおおよそ順調と言えよう。

・他の観光施設では、タイムリーな情報発信が誘客に力を発揮している。HPのリニューアルは大変良いと思うものの、公的施設であることを考えても、視覚等障害者への配慮は必須であり、考慮されたい。また、予約状況の表示や予約サイトを導入することも考えて欲しい。YouTubeの活用は効果的だが、タイムリーな情報発信には、TwitterやInstagramなどによる情報発信をすべきだろう。近日の状況や変化、つまり、紅葉や自然の変化を発信したり、今日のランチやスペシャルな定食などを発信したりする。またそれにより、リピーターやファンを作っていくことが必要と考える。

・交通手段についてが大きな課題だと思う。

・コロナ禍で利用者減少の中で全体的には健闘していると思う。財務状態は助成金等の収入から黒字であるが自主事業収支では全体的にマイナスである。イベントの実施を通じて利用者の増加を期待したい。

・成果指標の達成度について、利用者数が伸びず低評価が続いているが、コロナ禍の影響を考慮すると致し方ないと考えられる。しかし、発生から数年を経て新型コロナウイルス感染症に対する人々の意識が変わってきていることや、令和5年5月8日から季節性インフルエンザと同様の5類に移行されることから、今後、人の動きが活発になっていくものと考えられる。暫く離れていたリピーターを呼び戻し、また、新たな利用者を呼び込むための方策について創意工夫をこらし取り組んでいただきたい。

総合評価（自動判定）

A

(70/100)

